

オランダにおける健康増進の取り組みと地域医療

オランダ

2019/3/3~3/9

健康総合科学科 2年 小口紗穂

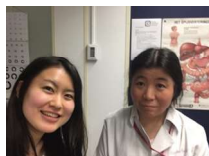
研修の目的

オランダにおける健康増進の取り組みと地域医療を学んで、少子高齢化の進展する日本への示唆となるものを探る。

渡航先での旅程と活動内容

- 3月4日 Healthcoin社を訪問。FounderのMikeさんにインタビュー。会社の設立背景や健康増進のためのスマホアプリの運用、効果について学ぶ。
- 3月5日 Buurtzorg Katendrechtを訪問。インターン生であるRegajaさんの、訪問看護の午前シフトに同行。Ragajaさんや、利用者さんのご家族にインタビュー。
- 3月6日 Buurtzorgpension Rotterdamを訪問。スタッフのJoyさんについてケア内容を見学。スタッフの方々にインタビュー。
- 3月7日 JECジャパンクリニックを訪問。現地のドクターである清水先生にお話を伺い、日本とオランダの医療の特徴や違いなどについて学ぶ。

3/7 JECジャパンクリニック



現地の日本人医師の清水美知緒先生

3/6 Buurtzorgpension Rotterdam



施設外観



スタッフのJoy van Ettenさん、利用者さん



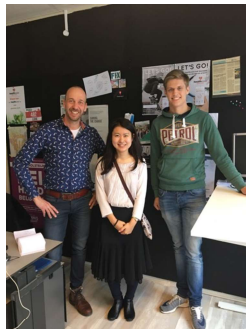
グローバルな視点とは何か

目の前のある問題に対して海外ではどのようなアプローチの方法がとられているのかを学んだ上で再び自国の問題を捉えること。その中で単に海外と自国のやり方を比較するに止まらず、自国の良さも改めて見えるという良さもある。

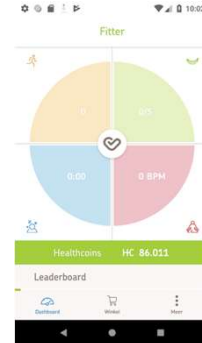
将来の進路決定へどう影響したか

様々な現場を見せて頂いたが、医療・健康の世界に関して自分は知識・経験ともに不足している分まだ傍観者の立場であると感じた。健康増進のためには様々なアプローチの方法があるが、一度きちんと看護を学び、現場に出て直接患者の方に接しケアを施す中で、より問題意識を明確かつ具体的にもてるように意識しながら今後勉強を進めたい。さらに、実際に問題を解決できるような、実現段階にまでもっていける立場になれたらと思った。

3/4 Health Coins B.V.



FounderのMike van Holsteijnさん、インターン生のThomasさん



HealthcoinとFitterによるスマホアプリ

3/5 Buurtzorg Katendrecht(訪問看護)



左: ナースでインターン生のRagajaさん

右: 訪問看護の利用者さんとその息子さん

研修を通して学んだこと

- ・HealthcoinのアプリはRewardsやGamificationなどが特徴的。一方どのような行動変容がどの程度あったかはまだ利用者への主観的なアンケートでしか測れていない。
- ・オランダでも介護・看護の仕事は今後ますます必要とされるのに対し、重労働で給料もそれほど十分ではない。
- ・日本では福祉の国家予算も限られており、今後少子高齢化が進展する中で今の水準の医療サービス(=個々の医療従事者のある種自己犠牲的な献身でサービスを補填する体制)を提供し続けるのには限界がある。そのため、サービスを切り詰めオランダと日本の中庸の体制が求められるのではないかな。

目的を達成できたか

学部2年生で専門的なことはまだ勉強できていない段階であるので、実際にどのように日本で活かせるかなどを描くところまではいけなかった。一方で改めて健康はどの国の人にとっても重要なテーマであり、アプローチ方法も多様な、魅力的な分野だと再認識し、自分が今後どう関われるかはしっかりと目的意識をもって勉強していきたい。

反省点

語学力の不足。勿論事前に下調べして質問内容を準備していったが、相手の答えを完全に理解できたとは言えないし、さらに発展させて質問をする段階にはまだまだ至れていない。海外で学ぶ貴重な機会を100%活かすためにも語学力の向上は必須だと感じる。

後輩へのアドバイス

- ・計画し準備する難しさはあるが、やってみようという気持ちさえあれば、手厚くサポートして下さるし、積極性や自立性、今後の勉強へのモチベーションなど得られることも多いのでとりあえず挑戦してみることが大きいと思う。
- ・特に2年生はまず問題意識を定めて研修テーマを決めるのが難しいと思うので先生方に相談に乗って頂くのもおすすめ。見学してくるポイントなども整理される。

研修支援制度に望むこと

テーマを決めること・毎日研修が入るよう調整しながら上手く複数の相手のアポイントメントをとることはやはり難しいので、台湾のプログラムのようなモデルコースを増やしてもいいのかなと思います。